

議会

つなぎも

だより

MARCH
3

12月第4回定例会 平成27年度補正予算等を審議

固定資産評価審査委員会委員に眞野嘉一氏・濱田久米男氏を推薦

東日本大震災から復興は進んだのか ～宮城県南三陸町～

議員研修レポート



平成27年第4回定例会

平成27年度一般会計補正予算 5200万円減額

福浦漁港防波堤整備工事の補助金交付額決定 による減額など一般会計補正予算を可決

平成27年第4回定例会が、12月16日、17日の2日間で開催され、補正予算や条例制定、固定資産評価審査委員会委員の選任が上程されました。
また、5人の議員が一般質問に立ちました。

定例会初日の審議状況

定例会初日、平成27年度補正予算等の審議が行なわれ、全て可決。固定資産評価審査委員会委員に眞野嘉一氏及び濱田久米男氏が全会一致で選任同意されました。

一般会計補正予算

歳入歳出予算を5200万円減額し、総額を33億3100万円とするもの。

主な質疑概要

川野雄一議員

問 企画費で、報償費14万円、使用料賃貸料（バス借り上げ）30万円が増額され、食糧費30万円が減額されているが、補正理由について説明を求める。

答 報償費増額は、南九州西回り自動車道路津奈木インター開通前のプレイベント参加者につなぎ温泉四季彩の入浴券を配布するもので、食糧費減額は、津奈木インター開通式で参加者に弁当配布をやめた為。使用

料賃貸料増額は、開通式に伴うシャトルバス借り上げ料7台分を計上したためである。

問 津奈木インター開通式は、28年3月と思っていたが、早まるような声も聞いている。今の時期に補正予算を計上しているが、開通式等の詳細はどうなっているのか、また、高速道路が開通すると国道3号での交通事故等が心配されるので、交通安全対策として、速度制限、赤色灯設置等を検討して頂きたい。

答 開通式の開通式等の詳細に関しては現状では判っていない。国土交通省によると、公式発表は1ヶ月前にということであるので、ぜひとも早く知らせてほしいと要望している。

問 農地費で、ため池ハザードマップ作成業務委託料150万円減額理由として、予算が確保できなかったということであるが、事業内容と緊急性がないのかについて説明を求める。

答 事業内容は、受益面積が7ha以上で、ため池が崩壊した場合の想定被害額が4千万以上の一定要件を満たすため池の防災、減災に向けた取り組みとしてハザードマップを作成するもので、倉谷地区の北谷ため池を予定していた。

緊急性については、北谷ため池は新幹線の恒久対策事業で実施し、耐震性等を考慮してあるので緊急性はないものと思われる。

村上義廣議員

問 水産業費で福浦漁港防波堤整備工事請負費7千万円の減額理由、来年度への影響、全体工事完了時期について説明を求める。

答 当初は、防波堤65mと崩壊ブロック制作35mを

1億5千万円で計画していたが、国の交付金が8千万円に減額されたため。来年度への影響は、国の方針によると交付金は前年度当初予算比の10%カットということで影響があると思われる。工事完了は当初7年間を予定していたが、工事完了は遅れると思われるので、地元説明を開催したい。

橋口知恵子議員

問 台風被害園芸・果樹復旧対策事業補助金のソフト事業、ハード事業の件数は。
答 植えかえ、補植等の対策に1件、葉面散布剤補助に153件、防風ネット補修に5件である。

本山真吾議員

問 有害鳥獣対策補助金の内容は。
答 当初イノシシの有害鳥獣駆除として一頭5千円、100頭分の補助金を計上していたが、9月までの報告で130頭を超えてい

る。よって50頭分、25万円を追加するものである。

国民健康保険事業 特別会計補正予算

一般被保険者高額療養費の増加などにより、歳出予算を組み替えて補正するもの。

主な質疑概要

橋口知恵子議員

問 高額療養費の組み替え理由は。
答 高額療養の方が増えて、4百万円程度不足する見込みであるため。

簡易水道事業特別 会計補正予算

水源の水質保全のための土地購入費などにより、420万円を追加し、総額を25億4300万円とするもの。

主な質疑概要

久村昌司議員

問 土地購入費を計上しているが、その面積は。

答 田が2574㎡、畑が728㎡、合計で3302㎡を購入予定である。

介護保険事業特別 会計補正予算

介護保険システム改修などにより、60万円を追加し、総額を7億9420万円とするもの。

主な質疑概要

橋口知恵子議員

問 認知症サポート見守り体制等の推進事業補助金の内容は。
答 認知症の方や、徘徊をされる方に番号をつけたキーホルダーを付けて頂き、その方を町で見かけられたら、その番号を事務局に電話して頂いて、町全体で見守っていただけるような体制づくりを行うものである。

恒久対策事業特別 会計補正予算

人件費（共済費）の追加により、歳出予算を組み替えて補正するもの。

条例制定・改正等	内 容
津奈木町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	個人番号の利用に関する規定が施行されることに伴い、個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。
津奈木町いじめ防止対策推進条例	津奈木町のいじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、いじめ防止対策推進法の規定に基づき条例を制定するもの。
津奈木町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	津奈木町いじめ問題対策連絡協議会及び津奈木町いじめ防止対策審議会委員を新たに設置するため、条例を改正するもの。
津奈木町税条例の一部を改正する条例	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴い、条例を改正するもの。

つなぎタクシーは順調に 運行しているのか



柳迫好則 議員

つなぎタクシーの運
行状況は順調か

問 10月からデマンド交通システムによる予約型乗合タクシーの運行が始まったが、現在までの運行は順調にいつているのか。

答 営業後2ヶ月を経過して現在のところ事故等もなく、順調に運行している。乗車数は10月に21日運行して利用者が178人、1日平均8・5人、11月には19日運行して利用者が225人、一日平均11・8人で、利用者も少しずつ増加傾向にあるが、目標値の1日平均38人には達していない状況である。

問 順調に運行しているということがあるが、利用者は、高齢者が多いと思われるが、予約の仕方などは問題なくできているのか、また、中尾、倉谷等の路線バスがなかった所の乗車状況はどうなっているのか。

答 電話予約については、

オペレーターと運転手が直接住民の方と話をするということで、オペレーターも極力親切に対応するようにしているので、電話予約については好評である。大字千代、津奈木等の乗車状況は1日平均目標値の12%程度であるので積極的な啓発に努めたい。

問 住民から運行に関してどのような苦情、要望があっているのか。

答 苦情は、料金が高い、特に水俣までの料金(800円)が高いということである。要望は 料金を安くしてほしい、土曜日、日曜日、祝日にも運行してほしい、午前9時便の追加、水俣市内の停留所増設、水俣市引きの午後の便を増やしてほしい等である。

丸岡団地前から役場前まで歩道の設置を

問 丸岡団地付近から児童生徒が登校する時など、団地前から役場前の通りに歩

道がなく、危険な状況である。特に朝、夕は交通量が多いので、なんとか歩道設置はできないのか。

答 歩道設置については、道路構造令で車道と歩道の間に縁石を設け分離して歩道幅を2m以上確保するように定められているので、狭い当該箇所に道路構造令に基づき歩道を設置する

るのは困難であるが、児童生徒が安心して通学できるように町道から広域道路に出る交差点付近がアジサイ植栽により見通しが悪く危険であるので、アジサイ移植等ができないか現地調査を行い対処したいと思っている。



丸岡団地から役場方面への通学路

地震・津波対策は万全か

橋口知恵子 議員



学校におけるフッ化
物洗口の現状は

問

県と県教育委員会は、2014年度中に全校一致を目指すとして、本町でも集団フッ化物洗口を小中学校で週1回程度実施しているが、現状はどうかになっているのか。

また、フッ素の毒性性について問われているが、学校での集団フッ化物洗口は必要と思うのか。さらに、見直す考えはないのか。

答

実施状況は、昨年の9月から各学校で実施日、時間を設定し、津奈木小学校と平国小学校が毎週水曜日の給食後、中学校が火曜日の朝に週1回行っている。幼稚園では平成17年度から、津奈木保育園は平成18年度から、津南保育園は本年度から、給食後毎日フッ化物洗口を行っている。

この洗口の導入に際しては、市販の歯磨き剤類を見ても、ほとんどの製品に含有の表示があり、保護者の

皆様に説明し希望調査を行い、納得の上実施するもので、全員に強制することはない。さらに、校医である歯科医師にも相談し、注意・指示を受けて行っている。

世界保健機関（WHO）、国際歯科連盟（FDI）をはじめ、国、日本歯科医師会、日本口腔衛生学会など内外の専門機関・団体が、有効性と安全性を認め、利用を推進している。虫歯予防の効果が高まるものと考えて判断するので、見直すことは考えていない。

津波対策で、福浦地区
に緊急避難路の設置を

問

福浦地区は、急斜面のみかん山と海との間の道路が一本で、高齢者の緊急避難に対応できない。宮城県南三陸町などの同じような地形の集落は避難用の手すり付きの階段があり、そのおかげで助かったという事例があったが、このような

避難用の階段が必要ではないのか。

答

現場の急傾斜地に階段を作った場合、高齢者の方が登れるかということもある。福浦地区においては、今後県道改良を行い、そういった避難する場合にも少し傾斜を緩くした県道の設計になっている。

通常の避難訓練で、安全な避難経路を考えておく必要があると思う。

文化センター周辺に
イルミネーションを

問

つなぎ温泉四季彩のリニューアルオープンや、南九州西回り自動車道の津奈木インター開通に向けて、文化センター周辺にイルミネーションの設置を行



背後地に急傾斜地が続く福浦地区

答

文化センター前は、今後津奈木インターが開通し、交通渋滞、追突事故などが起こると予想される。

やはり、竹灯籠や光を当てて間接照明ぐらいにとどめておきたい。

その他の質問

◎つなぎタクシーについて



西回り自動車道の開通イベントの状況は

答

町、津奈木町の主催で行う。

進行は津奈木町で行い開通式前にウォークラリーを行う。開通までの経緯については、当初は30キロに一つしかインターチェンジをつくらない予定であった。自動車専用道路となり各町にインターをつくつても良いことになり津奈木インターは開通することとなった。開通後3年間のイベントに關しては、現在模索中である。柑橘類・サラたま、水産業では真ガキの販売な

問

下門地区の町道取り付け工事はどのようになっているのか。また、地元建設業者への発注はどのようになっているのか。

答

面への取り付けが途切れたままになっている。着工については平成28年の田植え後に行う予定である。またもう一方の道路取り付けについては稲刈り後の予定である。工事については西回り自動車道の補償工事なので国土交通省による実施となる。したがって指名願いを届けたい業者しか受注できない。



町内外の多くの皆さんが参加した津奈木
インター開通前のウォーキング大会

町ホームページの
改良点について

問

ジが一新されたようだが、改良点などはどうなっているのか。

答

使いやすいホームページを目指している。今回の改良点の特徴はスマートフォンへの完全対応を行っている。最近つなぎ美術館へのアクセスが多くなっており、今回専用サイトを新設した。四季彩・グリーンゲイトと合わせて使用できるように予定している。

学校へのエアコンの設置はできないか

問 芦北町は今年度全ての学校にエアコンを設置した。人吉球磨の全学校も設置済みである。本校の中学校について導入の予定はないのか。

答

い。知力体力面と学力等の協調性があるのかが問題である。今の子供たちは、体は大きくなつてきているが、体力的な適応能力が非常に薄くなつてきている。学校教育とは学力だけではなく、心、根性、精神力が大事である。今は家庭にもエアコンが入つてきているが、耐える力、耐える心これがなくなつてきているのではないか。そこも学校教育ではないだろうか。金銭的な問題ではなく、教育委員会や学校現場とよく話し合つて、体力も増え学力も向上する、根性も養えると言うのであればいつでもやっていいと思つている。

町図書館及び学校 図書室の充実を



澤井静代 議員

図書館への専門職 (司書)の導入を

問 平国小学校の津奈木小学校への統合により、平成28年度から一つの小学校、一つの中学校の新たな学校教育体制になる。そこで、町図書館及び学校図書室のよりよい充実を図るために、専門職の司書導入は考えていないのか。

答 町の図書館は、パソコンによる蔵書の管理を行っている。本町の小・中学校に在籍する教職員で司書教諭の資格を持つ職員は、小学校で一人、中学校で二人である。資格を持った教諭が校務分掌の一環として図書室教育を担当し、校内で図書室教育をサポートしている。図書館に求められる機能や司書の職務内容を考え合わせると、専門職としての司書を導入するまでの規模や環境がまだ整っていないのが現状である。今後さらなる教育の充実に向けて、図書室教育についても

取り組みを推進しなければならないと思う。

来年度から一小、一中の新たな教育環境が生まれるので、小学校と中学校をひとくくりとした枠組みで捉え直し、教育実践を検証しながら今後の課題として考えていきたい。

ふるさと納税の捉え方 と取り組み及び実績は

問 ふるさと納税制度は、平成20年からの導入だと思う。今年度からワンストップ特例の制度によって、インターネット利用ではより手続きが簡単になり、ますます反響が大きくなっているが、本町はふるさと納税をどのように捉えられ取り組まれているのか。また、これまでの実績はどうなっているのか。

答 ふるさと納税制度は、出身地や応援したい自治体に寄附することで、寄附された方の住民税、所得税も一部であるが控除される制度である。

現在のところ、本町は熊本県と合同で協同広報のみを行っていて、積極的な寄附行為というのは募っていないが、ホームページ上で案内はしている。

実績は、平成26年度で4件の123万円、平成27年度では、現時点まだ途中であるが7件の133万円の寄附を頂いている。

問 ふるさと納税の返礼に地域特産物を贈呈することで、一つの産業へと結びつけている自治体も多くあるが、このような取り組みについての考えはどのようなのか。

答 インターネットからの寄附行為が可能になり、より簡単になったために、これにより特産品を売るイメージで寄附を募っている自治体が多くなっている。しかし、総務省から自粛要請が入っており、12月17日

付で各ホームページに規制がかかる。内容は、返礼への金額表示やパーセンテージの表示は自粛することになるが、平成28年度からは積極的な寄附も取り入れられるようなホームページへの紹介やシステムを作りたいてと考えている。

商品での過当競争にならないように、納税した人たちが良かった、行ってみようかなと見知らぬ人にも来ていただいて経済効果が生まれるように、連携したものでまちおこしにつながればと思う。



津奈木図書館での貸出の様子

光ケーブルを有効利用 するための施策は

久村昌司 議員



中小企業に対する
振興策は

問 平成25年に中小企業法案が改正され、26年に小規模企業振興基本法（注）が閣議決定された。本県においても昨年12月議会において条例改正案が可決されたが、本町としてはどのように考えているのか。

答 町としては県の条例に基づいた施策を活用するような形で考えているが、今後は関係の商工会等々連携をしながら必要な情報提供を図っていきたいと考えている。

（注）小規模企業振興基本法

地域経済の安定と地域住民の生活の向上・交流の促進に寄与する重要な存在である小規模企業の振興のため、小企業者（概ね従業員5人以下）を含む小規模事業者への支援施策を行うための法律です。

光ケーブルの活用は

問 光ブロードバンド基盤整備事業の進捗状況を伺いたい。

答 現在、詳細設計がほぼ終了している。一部施工に入っていて来年1月から電柱や光ケーブルの新設工事が町内一円で始まり、4月に完成見込みである。町としては4月から一部業者とともに、各地区で、住民説明会を開いて加入促進を図っていく予定である。

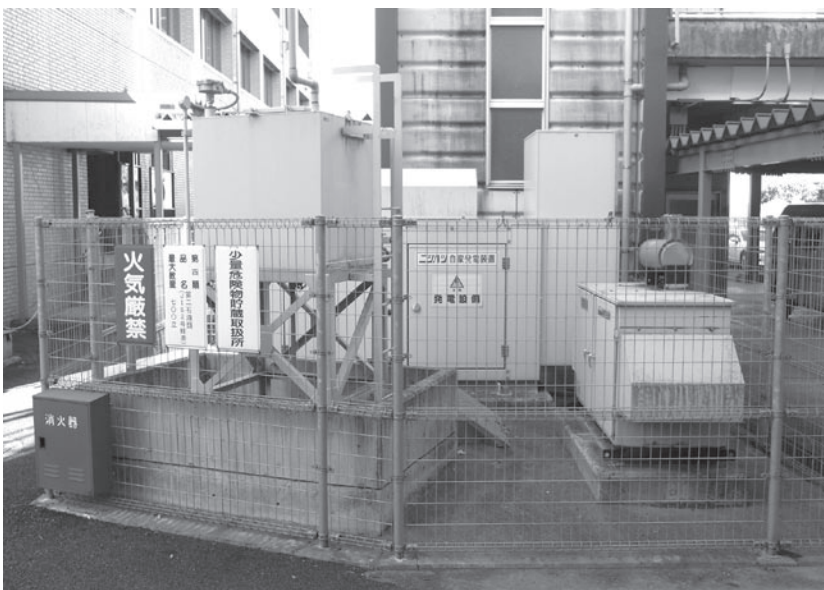
災害時における自家
発電機の対策は

問 新聞記事で自家発電が設置されていない市町村や、浸水対策が施されていない市町村が記載されていた。本町も浸水対策が出来ていないとなっていたが、今後どのように考えているのか伺いたい。

答

本町では外部の発電機を非常用電源と捉えているため、耐水処置が施されていない部類に入った。複数ではあるが他の市町村は太陽光発電の蓄電池を非常用の電源としているため、耐水処置ができていないと回答をしている。本町は大きめ

の太陽光発電と蓄電池も備えているため同一線上でいくと耐水用の蓄電池は備えている。したがって、紙面上での表現は少し違うのではないかと思っている。今後、発電機については次回の更新時には防水対策は可能ではないかと思っている。



役場裏に設置してある非常用自家発電装置

東日本大震災から復興は進んだのか？

宮城県南三陸町・岩手県陸前高田市

10月28日から31日まで宮城県仙台市、南三陸町及び岩手県陸前高田市などで研修を実施しました。

28日早朝より新水俣駅を出発し、福岡空港から仙台空港までおよそ5時間、11時前には宮城県仙台市に到着します。空港の壁には震災時の津波の高さの表示がされています。平成23年3月11日、日本中が震撼した災害の傷跡が目の前に記されているのです。バスに乗り込み、空港から被災地をめぐる研修が始まりました。敷地を抜け仙台市街につながる主要道路を移動するのですが、一面空き地が広がります。「何もない…」約4年経ち、ガレキは片付いているのですが、沢山の住宅の基礎部分がむき出しになっています。行き違う何台もの大型ダンプ、黙々と働く建設業者の方々の姿に、「ああ復興は続い



仙台中央卸売市場「棚宮果」にて研修

ことでした。

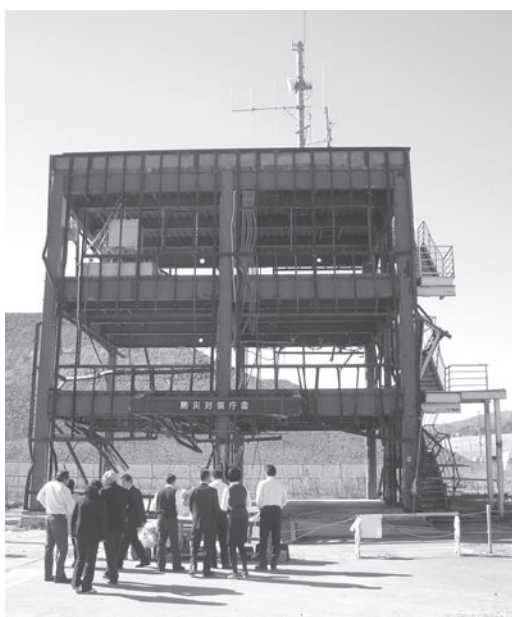
北に進路を取り石巻市立大川小学校へと向かいまし。大川小学校は児童教員121人の内94人が行方不明になった小学校です。被災前の予測ではまず津波は来ないとの考えから、残念ながら多くの犠牲者が出てしましました。裏山がすぐそばにあり、避難さえしていれば、ほとんどの方が助かったのではないかと思います。対応が悔やまれます。

その後南三陸町へと向かいました。南三陸町は、震災時防災庁舎で最後まで「高台へ避難してください」と防災無線放送を使い町民を避難させ、多くの町民の命を救いましたが、残念ながら残った多くの職員が犠牲になった町です。防災庁舎は頑丈な鉄鋼構造三階建

でしたが壁はなく鉄骨もむき出しになって湾曲し、津奈木町役場と同じぐらいの高さの建物を一飲みしてしまう津波の威力には「無力感」さえ覚えました。南三陸町では星喜美男議長と議会事務局長、担当課長の皆さんとの意見交換会をしました。震災当時の行政対応や復興計画等、災害時にはどのようなことが起こるか、アドバイスを含め大変有意義なものとなりました。特に、災害時職員の陣頭指揮をとられた議会事務局長の、4年経つても涙ながらに当時の様子を話される姿には、非常に感銘いた

しました。その後岩手県に移り「奇跡の一本松」陸前高田市を視察いたしました。被災地の復興は、一律の方法ではなく南三陸町など高台に町ごと移転してしまいう町づくりを行っています。陸前高田市などは地盤かさ上げする町づくり等様々です。いずれも、完全復興するにはまだ数年かかる見通しです。仮設住宅で生活している方々もたくさんおられます。一日も早い安心安全な生活が取り戻されますよう、心から願います。

次ページへ続く



南三陸町の防災庁舎。屋上のさらに上部、16mの津波に襲われた。

震災から何を学ぶか

今回の視察では、移動手段に地元の観光バスを利用し、バスガイドさんに震災時何がおこったのかを市民目線で教えていただきました。まとめると次のとおりです。

①「油断が命を奪う」

昭和35年に起きたチリ地震による津波でもたくさんの生命財産が奪われましたが、今回の地震での被害者の多くはチリ地震では被害のなかった地区に非常に多かったそうです。「絶対に大丈夫」はありません。

②「避難路を確保しておいてください」

津波が来た際逃げ場所はどこにあるのか。どのようにして逃げるのかを常に考えておくとういことです。特に東北の津波に襲われたところは、昔から家の裏山に逃げる避難路を作っているそうです。

③「現実には厳しい。失った人、失わなかった人が出てきます。人間関係にも影響は出ます。」

テレビ報道などでは「絆」「助け合い」等、和を強調されて伝えられていますが、やはり精神的なショックは相当なもので、問題のない地区はないのが現状だそうです。ただ、日頃からのコミュニケーションがうまくいっていた地区ほど、助け合いはうまくいくそうです。

研修を終えて

津奈木町は海に面していますが、過去に津波の被害はなく、一見津波は関係ないように思われます。ですが津波に限らず、災害は必ずあります。何日も孤立したりするような災害が無いとは言いきれませんが、やはり最悪の場合を考え、準備を怠らない心構えは必要だと思いました。

議会も今回の視察研修で学んだ防災に対することなどを取り入れながら安心安全な町づくりへ生かしていきたいと思っています。

議会を傍聴してみませんか

議会は、3月、6月、9月、12月の4回の定例会が開会されます。開会の日程は、議会だより等でお知らせします。

傍聴の手続きは簡単で、傍聴当日に議場傍聴席入口の受付簿に記入していただくだけです。

次回の定例会は、3月4日からの予定です。

■問い合わせ／議会事務局 0966-78-5351



編集後記

平成27年度の締めくくりに迎えました。議会だよりは、100号の記念号となります。紙面を8ページから10ページへ増やし、一般質問をより詳しくわかりやすく届くようにとの思いで取り組んでみました。

2月27日には、待ちに待った高速道路が開通しました。このチャンスをどう活かすか、知恵を絞りながら、多くの方に訪れて頂けるよう努めたいと思います。

「海の上の赤崎小学校」として村上春樹氏の本で紹介され、また「赤崎水曜日郵便局」も本になりました。見知らぬ人に道を尋ねられる機会が多くなるかも知れません。一人ひとりが自分のできる「おもてなし」ができればいいですね。

S・S

表紙の写真

平国小学校の閉校式が、在校生をはじめ多くの卒業生、地域の方々が参加して行われました。

議会広報委員

委員長	本山 真吾
副委員長	川野 雄一
委員	久村 昌司
〃	澤井 静代
〃	上村 勝法

つなぎ 議会だより

2016.3

発行 ■ 熊本県津奈木町議会
編集 ■ 議会広報委員会

〒869-5692 熊本県芦北郡津奈木町小津奈木2123
TEL 0966-78-5351

印刷 ■ 旭印刷株式会社